

安曇野市教育委員会 8 月定例会会議録

日 時；平成 24 年 8 月 30 日(木) 午後 1 時 30 分

場 所；安曇野市明科総合支所 2 階 第 1 会議室

出席者

教育委員：委員長 古幡開太郎、職務代理者 野本教子、委員 内田洋子、委員 望月正勝、
教育長 丸山武人

事務局：教育次長 西澤泰彦、学校教育課長 下里利行、学校給食課長 高橋正光、社会教育課長 赤羽孝明、文化課長 三澤良彦、文化財保護係長 那須野雅好、教育相談員 二木治樹

書記：学校教育課総務係長 白澤勇一、教育総務係 横山幸子

◎開 会

教育次長 ただいまより安曇野市教育委員会 8 月定例会を開催しますので、よろしくお願い致します。

なお、私ごとですが、8 月 1 日付で教育次長ということで着任しましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、委員長よりごあいさつをお願いしたいと思います。

委員長 [委員長あいさつ]

◎協議議案

教育次長 それでは、3 番の協議議案に入っていきますが、委員長より進行のほうをよろしくお願いしたいと思います。

委員長 それでは、お手元に 8 月定例会の次第がございますので、これに沿って進めたいと思います。

(以後、秘密会)

◎協議議案第1号 安曇野市博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金条例の一部改正について

◎協議議案第2号 (仮) 安曇野市文化のかおるまちづくり条例の制定について

(以後、公開)

◎協議議案第3号 安曇野市特別支援学級就学奨励費支給要綱の一部改正について

議案説明 学校教育課長

議案要旨 合併時に制定した安曇野市特別支援学級就学奨励費支給要綱の一部改正時に事務処理の錯誤があったことによる再修正の件について説明。

委員長 ありがとうございました。

それでは、協議議案第3号のご提案いただいた内容ですが、いずれも文字の修正という用語がありますが、その内容であります。まず、特別支援学級が特別支援教育、それから、盲学校、聾学校及び養護学校が特別支援学校というぐあいに文字の修正であります。これは本来ならば修正されていなければならなかったところですが、修正されずに条例化されていたということで、今回修正するご提案であります。ご質問ございましたら、お願いします。

特にこれはいわゆる法律等の用語、その字句に沿った改正ということで、今回の改正についてはこれでお認めいただいたということによろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、修正でお願いいたします。お進めいただきたいと思います。

それでは、第3号議案を終わらせていただきます。

◎協議議案第4号 文化財指定について

議案説明 文化課長

議案要旨 文化財の指定・認定基準の確認と、安曇野市指定文化財を指定する件について説明。

委員長 今ご提案の要綱の内容のご説明がありました。荻原神社のお船祭り、岩原山神社のお舟祭り、ご質問等ありましたらお願いします。

これはすみません、岩原神社のお舟の舟と荻原神社のお船の船が違うんですが、これは昔からこの字を使っているのでしょうか。

文化財保護係 一応、呼称につきましては地元で何と呼んでいるか、地元でどういう字を使っているか、これが基準となりますので、それを尊重して使わせていただいたということです。

委員長 この文字についてはそれぞれ使っているものを使ったということでもあります。

そのほかご質問等ございませんか。

望月委員 ちょっと振興計画のほうを急遽見させてもらって、市の無形民俗文化財のお舟祭りのことですが、今お舟にかかわって、これを見ると4つというのですか、文化財としても登録されているんですね。今度2つですが、私、これを読ませてもらって、ちょっとこういうことはこういうときにはどうなるのかと危惧する部分があるのですが、1つは、岩原のお祭りと荻原のお祭りを比べてみると、岩原のお祭りは非常に価値があるといえますか、原型的なお舟のお祭りで、これは非常に価値があると思いますが、荻原神社のお祭りというのは、これは読ませてもらうと歴史的にも非常に新しいものであると同時に、何回も中断してきて、それでこれからももしかしたら——あそこは大きな集落なので、文化財に登録されれば中断というようなことはなくなるかもしれないのですが、今までの歴史を見ていると、何回も何回も人手が不足して、それで中断したこともあるんですが、その辺のところの見通しとしてはどんなふうを考えて進められているか。これからもお舟祭りはこうやっていくと申請がまだいっぱいあるかと思えます。その辺のところのことでこれからどんなふうにお考えになっておられるか、ちょっとその考えを聞かせていただければありがたいなと思えます。

それで今後ふえていくことによって、文化財として大事に保存されてくるということについては私もやぶさかではない、非常にいいことだと思うんですが、余り簡単に認めていっていいのかなのかということと、もう一つは、先ほどお話がありましたけれども、評価委員の方がこれだけの資料を用意してくれてあるし、調査を進めていただいているから、私たちの言うことではないかもしれないんですが、ちょっとそんなことを、お舟祭りのことについては私いつも疑問に思っていて、どのくらいまで広がっていくのかということと、それから、これから少子高齢化が進んできてもし途中で中断してしまった時のことなんかも含めて、見通しについてどんな考え方をお持ちなのか、そのところを聞かせていただければ

ばうれしいですが。

委員長 お願いいたします。

文化財保護係長 お答えいたします。

萩原につきましては中断の歴史があるということはよく承知しております。

今指定になっております中萱山の熊野神社のお舟祭りも実は中断の時期がありました。両方そうなんです、運営に当たっては非常に途絶える前の方にいろいろといきさつ、つくり方、それから、曳行の仕方等をよくお聞きして、原形に近い形で復元しているというところは両方とも認められるところであります。

それで実はこの秋に少しまとまったお舟祭り展をやる予定でおりますけれども、安曇野のお舟というのはお舟と呼ばない舟形の屋体も含めて47艘あるそうです。約50艘近くある。これは道祖神と並んで非常に安曇野の文化として象徴的なお祭りでありまして、やはり安曇野を代表する一つの無形民俗文化財としてお舟というものを取り上げていくというのはある種の必然があるというふうに私は考えております。

ところが、合併以前の文化財をそのまま引き継ぐということでありましたので、全く明科のようにお舟祭りに対しての指定が進んでいないところもあったということでありますので、地域バランス的なものは当然考えるということはず1つあります。

それから、ふえていくことへの懸念ということですが、今お配りしますのは安曇野市の無形民俗文化財の昨年出しました調査報告書であります。それで実は現在、安曇野市の指定文化財は市指定158件ということであります。まだまだ指定すべきものはたくさんあるというふうには思いますけれども、すべていろいろな分野を一度にやるのはなかなか難しいというふうに考えまして、文化財保護審議会のほうで当面何を中心に指定していくのかということを検討いたしました。その結果、平成20年以降、とりあえず無形民俗文化財を中心にやっっていこう。その理由は無形民俗文化財の場合、やめるというふうに地域の方々が決めてしまうと、次の年になくなってしまいうという恐れがあるからであります。したがって、そこにお配りした報告書もすべて指定後に結びついた内容になっておりますけれども、とりあえず調査をしながら、消えてしまう恐れがある無形民俗文化財はまずやっっていこうという方針でこれまでやってきました。

お舟の指定は、昨年に、前回に続きまして今回もお舟ですが、安曇野市のお舟祭りを概観する中で、地域バランスも含めて指定のほうも大体いいのではないかなというようなところまできております。したがって、今後も同等にやっっていくということではなく、

ほかの文化財に目を向けながら、まだ仏像の悉皆調査もしなければいけないと思っていたりですとか、指定製造物もあつたりしますので、順次いろいろなものに目を向けていきたいと。ただ、指定するときは当然何でうちのほうにも同じようなものがありながら、こっちが指定になって、向こうが指定にならないのかという話も出てきますので、事前調査をきちんとした中で対応していきたいということでもあります。

そこにお配りした調査報告と同等なものが指定文化財については全部調査されている、順次報告書も出していくという方針でありますので、そんなことに基づきましてやっていく。

それから、中断ということに関しましては、逆に中断しないために文化財に指定するという意味合いが非常に強くあります。これは文化財に申請していただいた範囲で、逆にそういうことのないようにしていただく。地域でぜひそれをつなげていただく、これは強く願います、それを前提に受けていただくということでもありますので、その部分をご理解いただければ、よろしいかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

望月委員、よろしいですか。

望月委員 わかりました。

委員長 そのほかご意見ございますか。

これ、お舟祭りということで2つ、荻原と岩原のお舟祭りが上がって、過去にも住吉神社のお舟祭りですとかいろいろな形で上がってきて、今回はこういうそれぞれお舟祭りを支えている方々からの申請があるということで、これをさらに加える。これは必要なことだと思います。これが今後ともこういう形で加わるのはいいかなと思うんですが、1つ、先ほど那須野係長がお話ししたように安曇野市にお舟祭りが48あるということ、全体的なお舟祭りをまとめたような形もやっておかないと、実は私は岩原山のお舟祭り、私の地元と関係がありますのでごくよくわかるのですが、とんでもない結果のあつた両地区なんですね。それ、岩原だけでなく、もし意見が出てきたときに牧をどうするかということも考えておかなければいけないなど、実はこの地区、これだけとってみれば背景があります。ただ、これは申請をいただいたので、これはこれとしていいのですが、全体として安曇野市のお舟祭りがどんなぐあいになっっていて、どういう系図になって、どんな歴史があるのかは、ぜひ文化財保護の今後の形としても、また引き続きまとめていただきたいと思いますというご要望をお願いします。

それから、俵をつける祭りですとか、山車をつくる祭りですとか、もっと言えばいろいろ

な形の祭りがあるので、それぞれに安曇野市の特徴的なものがあると思いますので、それをまとめながら、こういうものも一つ一つ指定していく、こんなような姿勢もぜひ、厳しい財政状況ですとか時間があると思いますが、お願いしたいと思います。

よろしいですか。今回の2つについては、こういう形でお舟祭りの2つを候補としてこれから上申をしていくということに委員会としてご承知をいただいたということで、付帯意見としてこういう意見が出たということで、今後ぜひ文化財を審議される各委員会のほうにはお願いをするようにしていただきたいと思います。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

委員長 それでは、文化財指定のこの2案につきましては、教育委員会としてご意見を述べましたということですが、ぜひ進めていただくようお願いいたします。

それでは、次の議題に入らせていただきます。

◎協議議案第5号 後援・共催依頼について

委員長 第5号議案、後援・共催依頼についてということで、社会教育課並びに文化課、まず、文化課からお願いいたします。

文化課長・社会教育課長

[資料説明]

No. 1 2 3 第8回穂高神社写真コンテスト 穂高神社より後援申請

No. 1 2 9 第13回長野県ジュニア空手道選手権大会 安曇野空手道連盟より後援申請

No. 1 3 3 安曇野かかし会における作品の展示会 安曇野かかし会より後援申請

No. 1 3 5 平成24年度中信地区スポーツ少年団交流会

安曇野市スポーツ少年団より後援申請

No. 1 4 5 安曇野のお祭り展 I～オフネがつなぐ地域の輪～

「安曇野のお祭り展」実行委員会より共催申請

[共催申請1件、後援申請4件について審査]

全て異議なく承認された。

委員長 それでは、後援・共催につきましてはこれでよろしいですか。

後援・共催につきましてはここにあります。そうしましたら、1時間を経過したところ
ありますが、4 報告事項の(1) 後援依頼の教育長専決分の報告について まで進めま
して休憩に入りたいと思います。その後非公開の議題がございますので、すみませんが、そ
こで休憩をしまいたいと思います。よろしくお願ひします。

◎報告事項

(1) 後援依頼の教育長専決処分について

委員長 それでは、報告事項(1) 後援依頼の教育長専決分について、下里課長、お願ひいた
します。

学校教育課長 それでは、今月の教育委員会で行いました教育長専決分の後援依頼を報告させ
ていただきます。

[資料説明]

以上20件でございます。

委員長 ありがとうございます。

今専決分について、これは過去承認を行って、その内容が趣旨ともにその枠から外れてい
ないということで教育長に専決していただいているものでありますが、特に全体を通してご
意見がございましたら、よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

委員長 ありがとうございます。

それでは、報告事項(1) まで終了させていただきます。

これから暫時休憩とさせていただきます。その後非公開の議題をさせていただきますので、
その辺のご理解をお願ひいたします。

では、休憩に入ります。

(休 憩)

委員長 それでは、再開させていただきます。

(以後、秘密会)

(2) 平成24年度全国学力・学習状況調査の結果概要について

(3) 平成24年度児童生徒の区域外通学者について

(4) 教育長報告

(以後、公開)

(5) 学校教育課報告

学校教育課長 [資料説明]

委員長 ありがとうございます。

学校教育課からご報告があった件で、ご質問、いかがでしょうか。

特に通学路の緊急点検をやっていただいたんですが、まだまだ回ってみて、ちょっと怖いなどというところが何点かありますので、またぜひ精力的に、国道の関係ですとか、なかなか難しい点もあろうかと思うんですが、気になるところがありますので、引き続き指導等をしていただきたいと思います。

それから、一番最後のデジタル移動系の防災行政無線ですが、これは、前の地震のときに機能しましたか。

学校教育課長 このデジタル系移動防災行政無線の導入については昨年10月だったものですか、震災後ということ。

委員長 松本の無線が機能しなかったんですね。6月の、肝心のときに……。携帯はだめだし、メールはだめだし、結局一番使えたのは赤の公衆電話、あれが一番使えたということだったみたいですけども。

野本委員 緊急時はつながるのですか、赤の公衆電話は。

委員長 公衆電話のうち緑か赤かなんですが、赤は非常用ですので、選ぶのだったら赤を選べと言われるのですが、それは通じたと聞きまして。滅多にないですけども、たまに行くと赤いのが、まだ古いこんなので。

それで公衆電話も学校に置いてあるところはありますか。今たしかNTT東日本から、公衆電話で使われてないのは撤去したいけれどもということがそれぞれきていると思いますけれども、もし安曇野市内で公衆電話が市庁舎ですとかそこに置いてあって、ここからなくしますよというような要望があると思います。

学校教育課長 すべてではないですが、まだ今残っている学校公衆電話もございます。

委員長 そうですね。ちょっとその辺のところを、できるだけ学校はたとえお金を入れる公衆電話であっても、連絡体制をとれるようにぜひ残しておいていただきたいと思いますが、先般NTTからそんなようなものがあって、使用頻度が年間5,000円未満のところは撤去したい、5,000円を超えているところは何とかそのまま継続したらいいという、そんな趣旨の要望がありましたものですから、あるいは学校にもそんな、ちょっと気になるところですけども。

よろしいですか、学校教育課のご報告について。

(「はい」の声あり)

委員長 ありがとうございました。

(6) 学校給食課報告

学校給食課長 [資料説明]

委員長 ありがとうございました。

ご質問ございますでしょうか。

お願いします。

野本委員 質問ではないのですが、先日、地元の方から、どういうお立場ですかと言ったら、安曇野でお野菜をつくる研修会といった会が開催されていて、その責任者の方で、三郷サラダ市等にも野菜を提供されているのですが、地場産の野菜をできるだけ使ってほしいというような要望をいただきました。

私のほうとしては、教育委員会でそういう申し入れがあったということはお話ししますし、内田委員さんが給食の運営委員ですし、藤松校長先生方のほうへもお話いただくのがよろしくはないですかということで、そういうご案内を申し上げました。

今でも使っていただくと思うのですが……

学校給食課長 多分、その方は以前水産会社か何かにお勤めされていて、こちらへ来られて、グループでやっていらっしゃる方ですよ。

野本委員 ええ、おうちでも地元へお帰りになって。

学校給食課長 そうですね、一応そちらのグループ並びに地場産のところはできるだけ使うような形をしております。学校給食で使うとなりますと、ある程度量的なものの確保というのがございますので、単独で交渉といいますか、発注ができるくらいに生産していらっしゃる方もいるんですが、その方々にはそのほかの面でもご協力いただいたりしております。

それから、ある程度JAの農産課の方でそういうのを取りまとめて入れてくれるという1つのルートができ上がっておりますので、そちらのほうとの関係も強くしていただければ、センターといたしますか、学校給食で使うことはやぶさかではないと思います。市の農政課のほうでも、やはり地産地消の推進ということで、いろいろな方法がないかということで相談にくるのですが、やはりそのシステムづくりが若干難しい点があるということ、それから、規格がある程度そろっていただかないとちょっと現場では使いづらいという現場の意向等がありますので、そういうことも含めた中で農政も絡めて検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

野本委員 ありがとうございます。

委員長 よろしいですか。

この間札幌でO-157が出たり、ちょっと気をつけないければいけない事態も改めて出てきていますので、その点も気をつけながらお願いをしたいですね。

それから、これで北部から南部まで4給食センター全部でアレルギー対応食ができるようになったと思いますので、これも安曇野市全体でアレルギー対応食ができるということ、ぜひ落ちのないように管理していただいて対応していただきたく思います。これはアレルギーは決して一般論で語れない個々の問題がありますので、ぜひよろしくお願いいたします。

学校給食課について、よろしいですか。

(発言する者なし)

委員長 ありがとうございます。

(7) 社会教育課報告

社会教育課長 [資料説明]

委員長 ありがとうございます。

社会教育課からのご報告、何かご質問はございますか。

(発言する者なし)

委員長 各地区の運動会は、ことしは9月か10月ごろでしたか。

社会教育課長 10月14日が穂高地域、その他の地域は21日ということで。

委員長 また広報をしっかりとよろしくお願いいたします。

それから、安曇野検定も前回の反省を踏まえ、ぜひうまく進行できるように対応をよろしくお願いいたします。

ご質問がなければ、社会教育課はこれで終了させていただきます。

(8) 文化課報告

文化課長 [資料説明]

委員長 今、文化課からご報告がありました。先ほどご報告いただいたお舟祭りの関係が予告として載っております。それから、過去の中ではいろいろな点が出ていますが、この8月、実はきぼうで等々力巴吉の油絵展がありました。それから、高橋節郎記念館で文化勲章の小山敬三の展示がありました。安曇野市で安曇野市出身と、それから、文化勲章の小山敬三の油絵、同時に展示されるってそうないことですし、それともう一つ、近代美術館で田淵行男の蝶の細密画展が行われて、こういった安曇野市で絵画が一堂に会されるというのは安曇野市にとってはすごいニュースになるし、また、情報としては人を集める大きなポイントになりますので、ぜひ文化課からもこの辺のところを、個々の宣伝ではなくて、合わせてこういうのが行われますよというのは事前にわかっていたら、ぜひ外に情報を発信して人を集めてください、お願いします。いずれもこんなものが重なるってそうないし、できれば、こういうのを企画して行っていただきたいなと思います。

それから、薪能ですが、何かもうちょっと人が今まで入っていたように感じたんですが、もうちょっと入ってもよかったかなという気がしました。ぜひその辺のところを、せっかくおやりになるので、今回も野村萬先生ですとか、すばらしい狂言を見せていただいたりしましたので、ぜひ来年も盛んになるようにお願いしたいと思います。

全体を通じて、何かございましたら、どうぞ。

(発言する者なし)

委員長 よろしいですか。

では、文事務局のほうでその他の事項をお願いいたします。

(9) その他

- ・第56回長野県市町村教育委員会研修総会の開催並びに分散会等参加申し込みについて
- ・平成24年度市町村教育委員会研究協議会の開催について
- ・「安曇野の子どもを語る会」の参加者について
- ・平成24年度教育課程研究協議会について
- ・平成24年度主幹指導主事の学校訪問予定について

・新聞記事紹介

委員長 それでは、これで予定していたもの、すべて終了します。ありがとうございました。
事務局にお返しします。

◎閉 会

教育次長 以上をもちまして、8月の教育委員会定例会を終了したいと思います。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。